

1. 論点①：現在の松江市立図書館に対する市民の思い(イメージや印象)

松江市における図書館のあり方を検討するにあたり、始めに論点①では松江市立図書館の現状について意見を出し合った。

(1) 駐車場、交通アクセスについて

中央図書館の駐車場について多くの意見が出された。敷地の狭さ、駐車台数の少なさ、図書館までの距離、道路を横断する危険性等についての意見があり、中でも駐車料金については、無料時間の短さ（現行 30 分以内無料）が課題として捉えられた。

これらについては、まず駐車場の整備・改善が急務である。また、敷地内の建物の建て替えも視野に入れた検討が必要という意見が出された。

中央図書館の立地については、交通アクセスが不便であるという意見が多数の委員から出された。

(2) 館内設備について

館内設備については、学習スペース、読書スペースともに不足していることがあげられた。また、特に小さい子ども連れにとってトイレが使いづらいこと、子どもの読書スペースが一般スペースと分離されていないことから、他の利用者への遠慮により肩身の狭い思いがあることもあげられた。

館内の雰囲気として、誰もが遠慮や不便なく一日ゆっくり過ごせる設備、例えば飲食スペース、休憩スペース等を求める意見がみられた。

(3) 利用状況について

利用状況について、固定の利用者はいるものの利用したことがない人が多い、そもそも図書館の場所を知らない人もあるのではないかと、また、駐車場の不便さから図書館に足が向かない人もいるのではないかとという意見もあった。

(4) 実施事業について

実施事業に関して、イベント等を実施していてもその情報が広く伝わっていない、障がいのある方々への情報提供も不十分であるという意見が出された。

(5) その他

上記の他、図書館の利用に際しては、知りたい情報の調べ方や必要な資料の所在調査などを支援する司書の存在が大きく関わることから、レファレンス機能の強化についても望む声があった。